

高松塚古墳及びキトラ古墳の発掘調査成果の整理と活用について

古墳壁画 P T 発掘班

○高松塚古墳

- 1) 目地漆喰台座作成
天井石 1-2 東側面
- 2) 水準杭切り取り資料台座作成
SX224・225 の 2 台

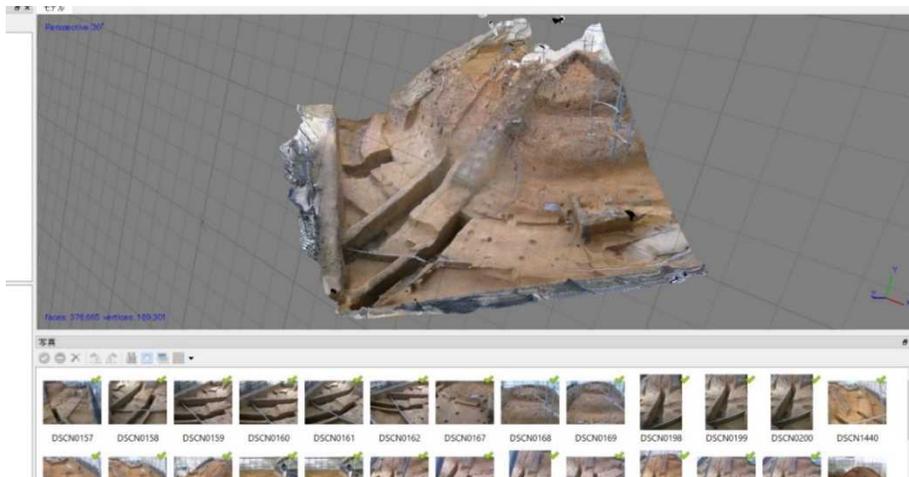


昨年度作成の目地漆喰台座
(天井石 4 西側面)



昨年度作成の水準杭 SX220 台座

- 3) 周辺地形三次元 CG の作成
周辺地形の詳細三次元モデルを作成し、以前作成の高松塚古墳モデルと合成し CG 化する。
- 4) 高松塚古墳調査区（平成 16 年度調査範囲）三次元モデルの作成
三次元レーザースキャニング導入以前の平成 16 年度調査範囲のモデル作成。デジタル画像から SfM（多視点ステレオ写真測量法）でモデル化し、遺構実測図により座標、標高等を補正。



○キトラ古墳

1) 周辺地形三次元モデルの作成

VR コンテンツの素材とするため、現代の古墳の周辺地形モデルを作成する。

2) キトラ古墳 VR コンテンツの作成

昨年度に引き続き、仮設覆屋存在時と墳丘整備後の古墳の状態を再現した VR コンテンツの作成作業をおこなう。将来的に、QR コードによりスマホ・タブレット等で閲覧可能なものとする。



整備後の墳丘のイメージ画像



仮設保護覆屋(2014年解体)のイメージ画像

3) 各種リーフレット・解説シートの作成

- ・各壁画公開の広報物等作成、展示室での展示作成、解説リーフレット（日・英・中2種・韓）作成。
- ・壁画非公開期間の展示作成。壁画非公開期間に配布する解説シートの作成。
- ・国宝指定官報告示後に、指定記念の広報物等作成と、常設リーフレット「特別史跡キトラ古墳」の改訂。

4) 移動プラネタリウムイベントの開催

四神の館にて、キトラ古墳天文図を題材にしたプラネタリウム番組を公開。時期は未定（秋～冬）。